

指定管理業務点検・評価シート（令和5年度業務）

令和6年7月6日

施設名	鳥取県立倉吉未来中心	所在地	倉吉市駄経寺町212-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1 施設の概要

設置目的	人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため。
設置年月日	平成13年4月21日
施設内容	○敷地面積：21,117.63㎡ ○建物面積：16,401.81㎡ ○施設内容：大ホール（最大1,503席）、小ホール（最大310席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1、第2練習室、セミナールーム1～9、アトリウム、団体事務局サロンほか
利用料金	
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第1, 3, 5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤倉吉未来中心を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥地域との連携
---------	--

3 施設の管理体制

（令和6年3月1日現在）

管理体制	正職員：18人、非常勤職員：2人、臨時的任用職員：2人〔計22人〕		
	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: middle;">館長（正職員1）</td> <td style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</td> <td> 総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員9※1、非常勤2、臨時職員2※2） ※1：県民文化会館駐在職員、とリアート中部支局員含む（正職員2） ※2：育休及び休職代替職員 技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 （正職員8） </td> </tr> </table>	館長（正職員1）	}
館長（正職員1）	}	総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員9※1、非常勤2、臨時職員2※2） ※1：県民文化会館駐在職員、とリアート中部支局員含む（正職員2） ※2：育休及び休職代替職員 技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 （正職員8）	

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5年度		9,019	7,291	42,719	10,934	11,336	8,945	15,357	17,817	13,093	8,858	8,725	10,486
4年度		5,113	7,396	12,928	11,772	8,855	5,416	15,805	17,357	9,364	5,297	10,756	8,156	118,215
増減		3,906	△105	29,791	△838	2,481	3,529	△448	460	3,729	3,561	△2,031	2,330	46,365

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	5年度		6,647	3,036	3,183	2,213	3,319	2,916	1,951	4,454	4,261	3,555	1,817	2,497
4年度		7,762	2,454	2,757	3,309	4,079	2,891	2,903	4,763	3,744	1,494	2,127	2,530	40,813
増減		△1,115	582	426	△1,096	△760	25	△952	△309	517	2,061	△310	△33	△964

5 収支の状況

(単位：千円)

区 分		5年度	4年度	増 減	
収入	事業収入	利用料金収入	39,849	40,815	△ 966
		小 計	39,849	40,815	△ 966
	事業外収入	県委託料	133,531 (129,146)	136,399 (129,850)	△ 2,868 704
		倉吉市委託料	57,979 (55,270)	59,217 (55,499)	△ 1,238 229
		手数料・使用料収入	4,020	3,139	881
		雑収入等	808	838	△ 30
小 計	196,338	199,593	△ 3,255		
計	236,187	240,408	△ 4,221		
支出	人 件 費	90,053	84,008	6,045	
	管理運営費	139,040	146,133	△ 7,093	
	計	229,093	230,141	△ 1,048	
収 支 差 額		7,094	10,267		

6 労働条件等

確認項目	状況				備考	
	常勤正職員	常勤正職員 (再雇用)	非常勤職員 (無期労働契約)	臨時職員		
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、労働条件通知書	就業規則、労働条件通知書	非常勤職員就業規則、労働条件通知書	臨時的任用職員就業規則、労働条件通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	※常時10人以上の労働者を雇用する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働・休日労働に関する協定書				※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8時間				※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	勤怠管理システム				※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	<ul style="list-style-type: none"> 概ね4週間当たり8日間の週休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日数（土曜日と重複する日を除く） 年末年始（12/29～1/3） 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] 病気休暇、特別休暇、子の看護休暇 [無給] 育児・介護休暇、海外随伴休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] 特別休暇、子の看護休暇 [無給] 育児・介護休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] なし [無給] 館長が認めるとき 	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額	320千円	249千円	185千円	158千円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回				
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任			※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
利用申込 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの過去利用者に対する抽選申込受付のDM送付や、文化芸術事業の販売促進告知（紙面掲載等）に取り組んだ。 ・ホールの空き情報をホームページやSNSを活用し随時発信した。 ・県内外の企業・団体等を訪問し、施設のPRやニーズ聴取を行い、利用方法の提案を行った。 ・経済団体が発行する広報誌へ施設の利便性に関する記事を掲載し、地元企業に向けてPRを図った。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「未来つながるプロジェクト」においては、チラシ作成や館公式WEBサイト・SNSを通じて情報発信に努めている。特にキッズプログラムにおいては、対象となる層に情報が行き渡るよう、中部地区の全園児・児童・子育て支援センター利用者等にチラシ配布を行っている。 ・SNSにおいては、公演情報を中心に消防訓練や清掃活動などの館運営に関わる情報も発信し、親しみやすい会館運営を目指している。 ・財団主催公演においては、上記のツールに加えメディア広告も展開し、県全域に情報が広まるよう発信に努めている。
新たなサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナールーム3の音響・映像設備を更新し、マイクシステムの音質改善に加え、サブモニター2台導入により、後方席からでも映像が見やすい環境改善を図った。 ・多目的トイレについて、市内福祉団体に意見を求めるなどの協力を得て、扉の開閉ボタンを非接触式へ改良した。また、多様な利用者に対応できるよう多言語による音声アナウンス機能も導入した。
アンケート の実施	効率的な施設運営に資するため施設利用者に対して会場の選定理由や満足度、職員の対応状況等についてアンケート調査を実施し、意見内容の分析と積極的な反映や改善に向けた検討に取り組んだ。
地域懇談会 の開催	地域で実施する文化芸術事業及び施設の運営・事業について意見を聴き、企画・運営に的確に活かすために地域懇談会を開催した。（財団として東部・中部・西部で開催）
イベント 相談窓口	イベント主催者に対し、効果的な施設の利用方法や舞台の準備から撤収に係るトータルサポートを行うための窓口を設け、文化活動団体からの相談に応じた。（相談実績：1件）
舞台技術支援・ 講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体のホール管理について、保守・管理に対する資料提供を行った。 ・民間のホール管理者に対し、LED化されたホールの運用についての助言を行った。 ・他県の自治体に対し、ホールの大規模改修についての助言および情報の提供を行った。 ・建築分野等に関わる学生向けに、特殊建築物であるホールの構造、設備等の見学機会を設け、体験型の教育支援を行った。 ・高等学校演劇部の部員に対し、照明仕込み図の書き方や照明プランに関する助言を行った。

8 利用者意見への対応

利用者意見 の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内にメッセージBOXを設置 ・申込手続きや利用施設の満足度、職員の対応等に関する意見を把握するための施設利用アンケートの実施 ・電話、FAX、Eメールによる意見等の受付 ・地域懇談会の設置・開催 ・県への「県民の声」による意見受付
----------------	--

利用者からの苦情・要望	対 応 状 況
トイレ洗面台にあるハンドソープがブッシュすると洗面台に飛び散る。（ホール）	吐出口に破損が見られたため、ディスペンサーを交換した。
ドアの閉まる音が「バタン」と大きいので調整してほしい。（セミナールーム）	扉の開き戸ダンパーを点検し、調整を行った。
ホワイトボードマーカーが薄かった。（セミナールーム）	ホワイトボードマーカーの交換を行った。
貸出テーブルのコマストッパーが壊れていて動きが悪く移動がうるさい。（アトリウム）	机のキャスターを交換した。加えて、机移動の負担軽減のため、保管場所をアトリウムに隣接する場所へ変更した。

時計の時刻が数分遅れている。(アトリウム)	設備時計を点検し、調整を行った。
使用できないポットがあった。(セミナールーム)	給湯室のポットを点検し、交換した。
照明スイッチがちぐはぐで、消したい照明のみ消そうとしても消せないです。(セミナールーム)	部屋の前後に連動したスイッチがあるため、ON/OFFが分かりやすくなるよう蛍式スイッチへ改良した。

利用者からの積極的な評価	
<p>〈職員の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分達が十分でないところをカバーしてもらえてとても助かった。 ・とても使いやすく職員の対応も丁寧なので、いつも利用している。 ・予約、準備の段階からとても丁寧に対応してもらえて感謝している。 ・設備の説明など丁寧だった。 ・舞台スタッフ、事務所スタッフがとても親切で良かった。 ・館内設備が綺麗に保てている。汚いところが見つからない。 ・館内スタッフがいつも笑顔。 ・直前の申込でも親切に対応してもらえて本当に助かった。 	
<p>〈施設設備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナールームの椅子が軽くて、テーブルも動かしやすかった。 ・清潔で準備と片付けが簡単なのでまた利用したい。 ・小さな子どももいたので空調が整っていてありがたかった。 ・空調代込みで使用できるのはありがたいと思った。 ・Wi-Fiが思ったより速くてとても満足。オンライン会議に十分な環境だった。 ・素晴らしいピアノで有意義な発表会が開催できた。 ・雪の中来てみたが、バス停まで建物ぐるりも歩きやすいように雪かきがしてあり、とても助かった。 	

9 指定管理者による自己点検

<p>[成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項]</p> <p>○利用者の安心・安全への取組と公平・公正な管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理と公平公正な管理運営に努め、利用者目線を第一としたサービスの向上に努めた。 ・新型コロナウイルス感染予防対策の各種ガイドラインに基づき、施設運営及び事業実施等における感染防止対策を講じた。また、感染拡大防止対策の一層の徹底及び施設利用者の安心・安全のため、施設の利用時間を21時30分までとし、施設利用後の消毒作業時間の確保を継続した。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後も消毒作業を継続した。 ・倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センターの統括防火管理者として、3館合同消防訓練を年1回実施するとともに、倉吉未来中心のみの単独訓練を年1回実施し、火災発生時の初期消火・来館者の避難誘導・関係機関への通報体制を整えている。令和5年度はエレベーターに人が閉じ込められた場合の救出訓練やJアラートによる緊急地震速報受信時の行動訓練を実施するなど、職員の危機意識を高めた。 ・施設の利用状況を加味して臨時休館日を設けるなどし、設備の点検・予防保全に努め、中長期整備計画を基に必要な改修・設備の更新を県へ要望、或いは会館で修理しながら施設の維持管理を行った。 ・倉吉パークスクエア内の施設（倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター、美術館整備局、倉吉交流プラザ、市営温水プール、食彩館等）による「倉吉パークスクエア会議」を毎月開催して情報共有を図るとともに、駐車場混雑時の対応を各施設と連携・調整を図りながら安全管理を行った。 <p>○施設の魅力を最大限に活用する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設見学の際、令和3年に改修した舞台機構、舞台照明を使用したショーを実施し、先進的な設備を紹介した。特に舞台機構については、世界基準の設備を導入したことをアピールできた（特に韓国の団体には好評だった）。 ・オープンスペースのアトリウムでは、施設のコンセプトである人々が交流し情報収集する場所として様々な工夫をした。 <p>[具体例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内出身・在住アーティストを活用した無料コンサート ・館内インスタレーション（七夕飾り、クリスマスイルミネーション） ・中部地域を題材とした作品等、中部の魅力を発信する作品を展示するアートギャラリー ・デジタルサイネージを活用した中部地域の文化芸術公演情報の紹介 ・中部1市4町文化・観光情報コーナーによる中部地域の魅力発信 ・「フィギュアのまち」倉吉が取り組む「まちなかミュージアム」のフィギュアを展示し、中心市街地との動線づくり ・パイプオルガン自動演奏やコンサートピアノ演奏体験等による、日常的に音楽に触れる機会の提供 ・令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館を紹介するコーナー設置による美術館開館の気運の盛り上げ ・倉吉市内中学校の職場体験、小学校の校外学習、その他団体の視察・見学を受け入れた。（計6件）
--

○利用者の視点に立ったサービスの提供

- ・Wi-Fi等のインターネット環境下でのオンライン会議や研修会が増加しており、事前にインターネット接続テストを希望する利用者には柔軟に対応した。
- ・セミナールーム3にサブモニター2台を導入し、後方席からでも映像が見やすい環境を整備した。
- ・多目的トイレについて、市内福祉団体に意見を求めるなどの協力を得て、扉の開閉ボタンを非接触式へ改良した。また、多様な利用者に対応できるよう多言語による音声アナウンス機能も導入した。
- ・アトリウムの机移動の負担軽減のため、保管場所を利用区画に隣接する場所へ変更した。

○効率的な施設運営

- ・来館者が「快適・安全」に過ごすことができる環境を提供することを第一としながら、省エネルギー、省資源への取り組みとして、契約電力の引き下げをはじめ、節電、節水等に配慮した施設の管理運営に努めた。
- ・鳥取県版環境管理システム（TEAS）Ⅱ種の更新登録を行い、職員に対する環境配慮への意識啓発や、利用者へも節水や空調設定温度の協力を啓発した。
- ・節電チェックシートを作成し、天候等によるこまめな点灯・消灯や、不要箇所の消灯、廊下等の間引き点灯（節電の館内表示）、夜間利用のないエリアの消灯、施設利用のない夜間の閉館により、12,384kwhの節電効果があった。
- ・空調運転においては、催事状況を見ながらこまめな空調管理を実践し、最大需要電力980kw以下の運用を継続し、経費節減と省エネルギーに取り組んだ。
- ・経年劣化による設備の不具合が増加しているが、修理部材を購入して職員自らが修理をすることにより、修繕費を抑える努力をした。

○地域との連携、文化芸術拠点としての活動

中部地域の交流・活性化拠点として、文化芸術（実演芸術）が持つ力や管理施設の特徴を活かした企画を通じて心豊かな“ひとづくり”と活力ある“まちづくり”を目指す「倉吉未来中心 未来つながるプロジェクト」に取り組んだ。このプロジェクトでは①将来を担う子どもたちへの取組 ②交流促進・賑わい創出の取組 ③活動支援の取組の3点を重点ポイントとし、特に地域の全ての子どもたちが等しく文化芸術（実演芸術）に触れることで豊かな感性と創造性を育み、将来的に地域をより発展させる人材へと育つことを目的に掲げ、本プロジェクトを推進した。

また、鳥取県文化振興財団の中部拠点として、中部地域の文化振興を目的に、文化振興財団主催事業及びとりアート中部地区事務局業務（県補助事業）に取り組んだ。

【倉吉未来中心「未来つながるプロジェクト」の主な取組】

①重点ポイント1「将来を担う子どもたちへの取組」

地域の将来を担う子どもたちへの取組として、乳幼児から来場可能な「ハッピーマイルコンサート」をインリーチ編として倉吉未来中心を会場に2公演、アウトリーチ編として三朝町・湯梨浜町・北栄町・琴浦町で4公演開催した。アウトリーチについては、取組開始以降初めて4町全てで開催することができ、三朝町・北栄町については、モデルケースとして、町内の保育園・こども園児向けの平日企画を開催した。これは、園児が一堂に町所有ホールに集いコンサートを鑑賞するもので、子どもたちの貴重な文化芸術体験機会として、町及び各園から好評をいただいた。また、琴浦町での無料コンサートは定員満了、湯梨浜町での有料コンサートも完売するなど、いずれも成果を挙げることができた。出演は県内在住の若手音楽家を起用し、活動機会の提供を通じて、その活動を支援した。

②重点ポイント2「交流促進・賑わい創出の取組」

交流促進・賑わい創出の取組として、開放的なアトリウムや音響特性に優れたホールなどの施設の特徴を活かした企画を実施した。まずアトリウムでは、県出身・在住の若手音楽家・演劇活動者の出演により、夏企画として七夕の夜にヴァイオリンとピアノのデュオコンサートを、春企画として、出会いと別れをテーマとした朗読とピアノのコラボコンサートを開催し、オープンスペースの利点を活かし、多くの方に気軽に音楽や朗読に親しむ機会を提供した。また、ホール企画として、県在住若手音楽家を起用したクラシックコンサートを開催した。これは、単独ではリサイタル開催が困難な若手音楽家の活動支援とその存在の周知を目的としたもので、「私のお気に入り曲」という統一したテーマの下、その人柄に触れるトークコーナーなども盛り込み、親しみやすいコンサートとなるよう務めた。また施設の魅力発信を目的とした「施設見学ツアー」として、①ピアノの構造に触れる「ピアノ調律ワークショップ」、②音の秘密をテーマとした「夏休み自由研究大作戦」、③バックステージツアーとして「ホール探検ツアー」を開催した。いずれもホールに関する様々な魅力を発信することで会館のイメージアップに努めた。

③重点ポイント3「活動支援の取組」

活動支援の取組として、ホール関係者や一般活動者を対象とした舞台技術ワークショップの開催を通じて地域の文化活動を下支えた。4回の開催のうち2回は高等学校演劇部員を対象とし、舞台技術の基礎に関する講習や舞台セットの作成を行ったほか、3回目は活動者への支援として、公演の舞台レイアウトや映像についての講習を行い、4回目は中部地区のホール管理者を対象とし、楽器の集音についての講習を講師の指導のもとに行った。

【文化振興財団・中部地区拠点としての主な取組】

①財団主催鑑賞型プログラムとして、「大阪フィルハーモニー交響楽団ハッピーニューイヤーコンサート2024」「スターダンサーズ・バレエ団 リラックスパフォーマンス『シンデレラ』」の2公演を開催した。「大阪フィル～」は、2回目の開催であったが、内容についてこちらから積極的に提案を行い、映画音楽も交えた親しみやすいプログラムとしたことで早期完売となり、成功を収めた。また、プレゼントとして、オーケストラの歴史や構成楽器等についての解説を、大阪フィル楽団員によるトークや演奏を交えながら展開するレクチャープログラムを開催し、本公演へとつなげた。

「スターダンサーズ・バレエ団～」についても、集客こそ目標に達することはできなかったが、子どもから大人まで、障がいの有無を問わず鑑賞できるよう、鑑賞マナーの緩和や、鑑賞環境に配慮を施し上演する「リラックスパフォーマンス」という形態での初めての開催であり、なじみ深い演目と相まって、ファミリー層を中心に多くの来場者となった。

②その他プログラムとして、学校向けアウトリーチである「とっりの芸術宅配便事業」を、中部地区小学校と特別支援学校の2校で開催した。また、市町村連携事業として、琴浦町が主体的に開催する2つの公演（合唱フェスティバルとキッズコンサート）について、より充実した内容となるようゲストステージ企画等で協力した。

【とりアート中部地区委員会事務局としての主な取組】
 従来の形態としては最後の地区イベントであったが、集大成となった大ホール公演を中心に委員をサポートし、円滑かつ充実したイベントに導いた。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

- ・ 県立美術館開館後の倉吉パークスクエア駐車場の混雑対応について、鳥取県及び倉吉市やパークスクエア内の各施設とも連携しながら対応していく必要がある。
- ・ 開館して25年が近づくとつれ、設備の老朽化に伴う不具合箇所が顕著に現れているため、利用者への影響が最低限となるよう工事計画を調整するとともに、県の中長期保全計画を基に、経年劣化の進行度合による計画の進捗調整や利用者の要望等をうかがいながら、今後の改修工事等に反映させ、安心・安全な施設運営を行う。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により施設の利用率・利用人数が低迷していたが、徐々に回復の兆しが見られるため、より積極的に利用促進を働きかけ、利用率・利用人数及び利用料収入の増加に努めたい。
- ・ 「未来つながるプロジェクト」は、地域の将来を担う子どもたちへの取組を中核に据えて展開しているところであるが、従来の土日祝の公演に加え、令和5年度に試行的に開催した保育園・こども園向けの平日アウトリーチ等も織り交ぜ、保護者の都合に左右されることなく、一人でも多くの子ども達が文化芸術に触れられるよう、機会の充実に努めていく。
- ・ 「未来つながるプロジェクト」において、将来が期待される地元の若手アーティストを積極的に起用しているところであるが、キッズプログラムやアウトリーチなどの趣旨を理解し、演奏のみならず企画力や制作力の向上を通じて、地域で活躍できる人材の育成に寄与できるよう、研修プログラムを整備し、その活動を支援していく。
- ・ 中部地区の文化振興拠点として、引き続き中部地区4町との関係性を強く意識した取組を展開していく。各町との連携の下、町所有ホール等を会場としたアウトリーチ公演や舞台技術ワークショップを通じて、各関係機関との連携をより密にすることにより、中部地区の文化振興及び人材育成に努めていく。

10 施設所管課による業務点検

項目	評価	点検結果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○令和7年春にオープンする県立美術館との調和を図るために、老朽化した施設の外壁改修を積極的に提案するなど、県と連携した維持管理を適切に行っている。 ○倉吉パークスクエア内の施設と連携し、消防訓練や混雑時の対応訓練等を実施し、職員の危機意識や安全管理能力を高めている。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○パークスクエア内の各団体間で情報を共有し、各々の企画する催事等でトラブルが生じないよう適切に調整・管理を行っている。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○インターネット環境下でのオンライン会議や研修会の増加に伴う事前の接続テストの補助など柔軟に対応している。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○多目的トイレの扉の開閉の方式などについて、関係団体の意見を踏まえ県に改善を提案するなど利便性の向上に務めた。(R5年度改修完了) ○多様な利用者に対応できるよう多言語による音声アナウンス機能も導入した。
〔活性化事業の実施状況〕 ○実施内容	4	○将来を担う子どもたちへの取組として、乳幼児から来場可能な「ハッピーマイルコンサート」を倉吉未来中心及び三朝町・湯梨浜町・北栄町・琴浦町で開催した。 ○人々が交流する場所としてアトリウムを活用し、県出身・在住の若手音楽家・演劇活動者の出演によりコンサートを開催し、多くの方に気軽に音楽や朗読に親しむ機会を提供した。 ○ホール企画として、県在住若手音楽家を起用したクラシックコンサートを開催し、若手音楽家の活動支援と周知を行った。 ○施設の魅力を発信する目的で「施設見学ツアー」を開催し、ピアノの構造に触れる「ピアノ調律ワークショップ」、音の秘密をテーマとした「夏休み自由研究大作戦」及び「ホール探検ツアー」を開催し、イメージアップに努めた。

〔収入支出の状況〕	3	○増加する維持修繕費の支出や光熱費高騰のあおりを受けながらも経費節減等に取り組み、安定的な収支決算で事業年度を終えた。 ○不要箇所の間引き点灯、こまめな空調管理等を徹底し、年間を通じて節電に務めた。 ○修理部材を購入し、施設職員自らが対応可能箇所を修理することで、修繕費の節減に努めた。
〔職員の配置〕	3	○協定の内容どおり実施されており、適切に配置が行われている。
〔会計事務の状況〕 ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	公益法人会計の適正処理に努めるとともに、健全な経営体制に向けた取組を実施した。
〔関係法令の遵守状況〕 ○関係法令に係る行政指導等の有無等 ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 ○県内発注(鳥取県産業振興条例)	3	○全職員を対象にコンプライアンス研修及び人権研修に取り組んでいる。
〔県の施策への協力〕 ○障がい者就労施設への発注	4	○印刷物の発注等、障がい者就労施設への発注実績が認められる。
総 括	3.5	施設利用に係る基本的な管理運営はもとより、交流促進及び賑わい創出について積極的に事業を実施しながら、施設利用者の更なる利便性向上や効果的で安全安心なイベント運営に資する助言指導等を行うなど、文化芸術事業の継続と発展に向けて、地域の文化活動拠点としてその役割と機能維持・向上に取り組んでいる。

《評価指標》5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。

3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。

1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。